

例会日：水曜日
 第1・第2 夜間・18:30～
 第3・第4・第5 昼間・12:30～
 例会場：華月殿 和歌山市屋形町2-10
 事務局：〒640-8215 和歌山市橋丁23
 サイバーリンクス N-4ビル 2階
 TEL 073-423-3666 FAX 073-423-7200
<http://www3.cypress.ne.jp/tonan-rotary.html>
 E-mail : a-rotary@coral.cypress.ne.jp
 会長：溝落和作 幹事：籠田 弘
 クラブ会報委員長：赤在依美 副委員長：郷間博敏



週報
 通算1993回
 33号



イリオモテムヨウランラン科
 開花期五月～六月

本日の例会
 4月4日(水)
 18:30～華月殿

ロータリーソング：われ等の生業
 行事：クラブフォーラム
 社会奉仕委員会

次回の例会
 4月11日(水)
 18:30～華月殿

行事：クラブフォーラム
 姉妹クラブ委員会

先週例会報告

ゲスト：朝日新聞社 和歌山総局長 速水 徹様

会場監督 中谷敬子

会長報告

溝落和作 会長

- 和歌山県立和歌山盲学校に展示ケースの贈呈式に行っていました。
 参加者：吉田・山本・向井・堀・籠田・溝落 6名。
- 朝日新聞和歌山総局 総局長 速水 徹様、本日卓話をよろしくお願いします。



幹事報告

籠田 弘 幹事

第8回 理事会報告 2012. 3. 21
 出席者：溝落、辻本、駒坂、津川、吉田、
 中岡、向井、中谷、山田(さ)、籠田
 辻本直前会長並びに谷口会員にお願いしておりました細則変更について案が出来上がってきています。情報規定委員会で協議の上理事会で検討、結果各位に連絡する。



幹事報告

- 1) ロータリーレート 4月1日より1\$82円となります。
- 2) アンコール小児病院 赤尾女史からレポートが届いています。各卓に置いてあります、ご覧下さい。
 4月1日 テレビ大阪 18時35分放送の番組「世界で活躍する日本人」で赤尾女史の活躍が放映されます、ご覧下さい。
- 3) 当クラブ会員名簿完成各人のボックスに配っています、ご活用下さい。

ニコニコ箱

山田さち子 会計

溝落君・速水様、本日はよろしくお願ひします。
 籠田君・速水総局長さん、よろしくお願ひします。
 吉田君・東南会ゴルフコンペ優勝できました。メンバーとハンディーのおかげでした。
 山田(剛)君・日々に感謝で頑張ろう。
 堀君・本日盲学校での贈呈式多数ご参加、有難うございました。
 ご結婚記念日お祝ひ・市川君。



米山記念奨学会

山田さち子 会計

溝落君・和歌山盲学校での贈呈式に行ってきました。

紀南災害義援BOX

山田さち子 会計

和田(薫)君・東南会コンペ、おつかれさまでした。



《委員会報告》 姉妹クラブ委員会 南美和子委員長

台北東南ロータリークラブ 35周年記念式典参加も来週となりました。台湾のレイモンドさんから連絡がございまして、当日、私どものクラブは(ここに幸あり)を歌ってほしいとのこととございました。従って我がクラブからは(ここに幸あり)の歌と(祭り)の二つをとということになりました。本日、ハッピーと団扇を皆様にお渡ししておりますので、当日お忘れなきようお願い致します。着物を着られる方については、山田さち子会員がお手伝い下さるとのことです。台湾ドルに換えられる方は、三菱UFJ銀行又は関空にて出来ますのでご用意ください。4月6日(金)関空のキャセイ(C)のカウンターにJTBの方がきてくれます。其々手続きしてくれますので、お着きになった方からチェックインお願い致します。以上、よろしくお願い致します。

	ニコニコ	米山奨学金	ロータリー財団	東南育英会	紀南災害義援BOX	出席報告	出席者	出席率
累計	1,776,066	289,000	462,800	11,000	5,000	会員総数	51名	70.00%
						出席免除会員	2名	92.16%



五輪はその時々の世界情勢を映し出す。時の国際政治から影響を受けてほんろうされる一方で、国を復興・発展させるスプリングボードとしての機能も果たしてきた。また、五輪がもたらす経済効果は絶大だ。いくつかの過去の五輪を検証しながら、ご説明する。1936年のベルリン五輪はのちに「ヒトラーの五輪」とも呼ばれた。当初、五輪に否定的だったヒトラーだが、「アーリア民族の優秀性を証明する」ために五輪を政治利用しようとする。しかし皮肉にも、この大会で最大の注目を集めたのは米国の黒人選手だった。男子陸上100、200メートル、400メートルリレー、走り幅跳びで4冠を獲得するジェシー・オーエンスである。ヒトラーは地団太踏んで悔しがったといわれる。この時オーエンスがはいた靴が「ダスラー兄弟商会」、のちのアディダスだ。これを機に、小さな靴工房が世界的なスポーツ用品メーカーへと発展していく。五輪の持つ宣伝効果は戦前の時点ですでに証明されていたといえる。

1964年の東京五輪は日本初であると同時に、アジア初の五輪開催でもあった。東京五輪は日本にとって、戦後から復興し、欧米諸国に肩を並べるまでに成長を遂げた国であるということの世界に知らしめる意味があった。この五輪前、首都高速、東海道新幹線、環7などの環状道路、東京モノレール、地下鉄といったインフラが一気に整った。東京というメガロポリスの都市基盤はこの五輪で固まったわけである。大会の運営費は94億円だったが、こうしたインフラを含めれば1兆円もの大金がたぎ込まれた。また、この大会で公式計時を担当したセイコーは、ダスラー兄弟商会と同じように絶大な宣伝効果を得て、60年時点で海外輸出が60万個だったのが、五輪翌年の65年には130万個、66年には300万個と倍増した。五輪の経済効果を、日本企業が体感した大会であったとも言える。

東京大会後も五輪は様々な形で揺れる。68年メキシコ大会は、米国の黒人選手が差別を表彰式場で訴え、メダルを剥奪される「事件」が起きた。72年ミュンヘン大会はパレスチナゲリラによるテロ事件が発生し、史上最悪の事態に追い込まれた。76年のモントリオール大会はオイルショックの影響を受け、880億円もの赤字を出す。モントリオール市民はこれを税金の形で長年負担することにもなる。

80年モスクワ大会は、旧ソ連の前年のアフガニスタン侵攻に対して、時の米カーター政権が友好国にボイコットを呼びかけた。五輪の波及効果・宣伝効果が政治利用された悲しい過去である。

人種差別問題、宗教問題、国家間対立、テロ、経済問題と、あらゆる難題を抱えていた五輪の流れが、84年ロサンゼルス大会で変わる。84年は五輪に立候補した都市はロスのみで、しかも市民有志約60人で招致委員会をスタートさせた。のちに大リーグのコミッショナーや五輪委員会会長などを務める、ピーター・ユベロスという旅行代理店経営者がその手腕を発揮、1業種1社に限った初の独占的スポンサー制や聖火ランナーの有料化など様々なアイデアで大会を黒字に導き、五輪はお金を生むことが出来るスポーツイベントであることを示した。善し悪しは別にして、ここで五輪の流れが変わった。

前回の08年北京大会は国威発揚の色合いが濃い大会だった。だが、世界的な流れとしては、巨大になりすぎた五輪はコンパクト化の方向に向かいつつある。2年前のバンクーバー冬季五輪では環境問題に本腰を入れた。実際、温暖化で雪がないという問題にも直面した。今年のロンドン五輪も、2年後のソチ冬季五輪も、コンパクトで環境に配慮した五輪になっていくだろう。

東京が招致レースで敗れた16年五輪はリオデジャネイロに決まったが、「南米大陸に初の五輪を」という訴えかけにシカゴやマドリドも勝てなかった。ブラジルは14年にサッカーW杯、2年後にリオ五輪と、世界三大スポーツのうちの2つを短期間のうちに開催することになる。世界から外貨がたぎ込まれ、耳目も集まる。日本が東京五輪と70年の大阪万博を踏み台にして飛躍的に国力を伸ばしたのと同様、近い将来、振り返れば、W杯と五輪でブラジルは大きく発展したと言われることになる、と私は確信している。

五輪は世界情勢を映す「鏡」のような存在だ。五輪を単なるスポーツイベントとして見るのではなく、国際情勢やその開催国の状況、時の世界経済といった側面から見ることで、多角的に世界をとらえることができる非常に興味深い存在である。今年のロンドン五輪もそういった視点で楽しみ、検証していただくことをお勧めしたい。

